

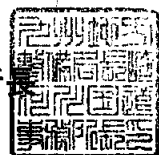
事 務 連 絡

平成22年1月7日

社) 長崎県建設業協会長 様

九州地方整備局

長崎河川国道事務所



多自然川づくり勉強会の開催について

平成9年には河川法が改正され、河川環境の整備と保全が河川法の目的として明確になるとともに、河川砂防技術基準(案)において「河道は多自然型川づくりを基本として計画する」ことが位置づけられ、現在では多自然型川づくりはすべての川づくりにおいて実施されるようになってきました。

しかし、こうした事例のなかには、様々な工夫を重ねながら治水機能と環境機能を両立させた取り組みがある一方で、場所ごとの自然環境の特性への考慮を欠いた改修や他の施工区間の工法をまねただけの画一的で安易な川づくりが見られることが指摘されているのも、事実です。このような背景から、今一度川づくりを考えるべく、多自然川づくりの国内第一人者である福留先生を招いて勉強会を開催することとしました。

年度末の多忙な時期ではありますが、多くの技術者の皆さんの参加をお願いします。

記

日 時： 平成22年1月20日(水) 11:00～15:30(予定)(小雨決行)

場 所： アエル諫早 及び 本明川・新橋上流(うなぎ・割烹 北御門前)

長崎県諫早市本町3-11 TEL 0957-35-5757 FAX 0957-35-5767

講 師： 福 留 脩 文 氏

内 容： 川の見方や川づくり工法の考え方、石積(張)、置石・カ石の技術について、座学及び現地実習を実施

その他： 今回の勉強会は、社)全国土木施工管理技士連合会の学習プログラムとして登録を計画しています。【申請中】

(CPDSの対象時間は、11時～12時、13時30分～15時30分の3時間を予定)

注 意： ①資料の準備の関係から参加人数を、1月19日(月)午前中まで
事 項 報告下さい。

(FAX可 長崎河川国道事務所 調査第一課 土井まで)

②会場の都合から、受講者を制限する場合があります。予めご了承下さい。

③当日は、ヘルメットと出来れば胴長持参で参加下さい。

問い合わせ： 長崎河川国道事務所 建設専門官 光武

TEL：095-839-9211 FAX：095-839-9353

多自然川づくり勉強会 ～川づくりかた、考え方～

○開催日時：平成 22 年 1 月 20 日(水) 11:00 ～ 15:30 (予定)

○会 場：□室内勉強会：アエル諫早

□現地実習：本明川・新橋上流(うなぎ・割烹 北御門前)

○講 師：福留 脩文 先生

○内 容：

1.室内勉強会 (11:00 ～ 11:50)

①川成りと物理環境(河川の蛇行と形成される瀬・淵の関係)

②川づくり工法の考え方と提案

- ・平面図から洪水の流れを検討し、水衝部と水裏部を予測して、瀬と淵の位置を決める。
- ・その瀬と淵を保全する構造物の配置を検討する。
- ・護岸や水制の設計方法について、注意点や配慮事項を説明する。
- ・杭水制工(杭出し)による流向と流速の調節
- ・構造物を施工するときの注意点を、事例でしめす。

2.質疑応答 (11:50 ～ 12:00)

3.現地実習 (13:30 ～ 15:30)

石材を使った流水の誘導方法の实地指導

①川の見方

②石積(張)、置石・カ石の技術について(デザイン、積み方、禁手など)

③落差工(飛石)による深み、淀みの作り方

(現場で実技指導の中で、設計・施工上の配慮事項を説明)

福留脩文氏のプロフィール

1943年 高知県に生まれる。1967年 東海大学工学部土木工学科卒業、建設会社に就職。1974年 ㈱西日本科学技術研究所を設立、代表取締役役に就任。土木設計、自然環境調査を広く手がけ、今日に至る。・高知大学非常勤講師、九州地方整備局「うるおいのある川づくりレビュー委員会」委員、高知県文化環境アドバイザー、日本ビオトープ協会顧問など公職 多数。

日本の風土に合った地域開発のあり方を模索し、近自然河川工法を最初に提唱し、日本の第一人者としてその意義や方法を紹介し、自ら川に入って工法を実践する技術者でもある。その全国の河川で実践活動を進めている。ニコル氏の住む長野県鳥居川など手がけた河川は全国に広がる。

1月19日(火)12時必着

宛 先

長崎河川国道事務所 調査第一課 土井 まで

FAX 095-839-9859

電話 095-839-9353

会社名: _____

連絡先: _____

窓 口: _____

参 加 者 氏 名	連 絡 先 (携帯電話等)

※個人情報、今回の講習会以外には利用しません。